

飛躍



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

HIYAKU

第425号

TOP*NEWS

あけましておめでとうございます

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト 金賞!

ゴルフ部 羽賀 亜衣未さん 関東大会出場!



吹奏楽部 全日本マーチングコンテストでの様子

新年を迎えて～さらなる改革を目指して～



校長

片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。
2023年、新しい年の始まりです。

行動制限のない年末年始となりましたが、日本全体で昨年11月の後半からじりじりと新規感染者が増え続け、本校でも教職員や生徒、そして家族の方々に感染者が出ました。今年も感染拡大を防ぎながら、なるべく通常の学校生活に近い形で毎日を過ごせるよう細心の注意を払い学校活動を進めていきたいと思っております。

昨年を振り返ると、高校は残念ながら中止となってしまいましたが、3年ぶりに中等部が実施できた夏の剛健旅行、すべてのコースを国内に変更して1年遅れで実施した高校3年生の研修旅行、建学祭、体育祭、中等部の合唱祭、

建学の地 静岡でのオリエンテーション合宿などは、感染防止に細心の注意を払い、いくつかの内容変更も行い実施することができました。この後2月に中等部3年生の研修旅行が場所をオーストラリアから一昨年世界遺産に登録されたばかりの奄美大島に変更して予定されていますが、無事実施できることを願います。3月には中・高3年生を送る卒業証書授与式が開催されます。新型コロナウイルスを抑え込んで、挙行したいと思っております。

高校吹奏楽部が3月の全日本アンサンブルコンテストでの金賞受賞を皮切りに、10月の全日本吹奏楽コンクール、11月の全日本マーチングコンテストでも金賞を受賞し、3大大会すべてで金賞受賞の快挙となりました。さらに中等部吹奏楽部が10月に行われた東日本学校吹奏楽大会に9年ぶりに出場し、11年ぶりに金賞を受賞しました。中等部吹奏楽部は毎年素晴らしい演奏をしているのですが、30人以下という東日本大会の人数制限の中で

25人前後で東京都の大会に出場し、なかなか東日本大会への出場を果たせませんでした。今回も25名で参加し、素晴らしいハーモニーが人数不足をカバーして、見事金賞を受賞しました。

こうした吹奏楽部の活躍の他、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、本校の部活動は頑張り、ダンス部、陸上競技部、中等部放送部が全国大会に、柔道部、剣道部、弓道部、ダンス部、陸上競技部、ゴルフ部が関東大会に出場しています。

また、全国大会に出場はなりませんでした。高校サッカー部がインターハイ都予選、選手権Aブロック共にベスト4と素晴らしい成績を残しました。選手権Aブロック準決勝での全校応援は、本校の生徒、教職員のみならず、たくさんの卒業生にも大きな感動を与えてくれました。

19年目を迎えたSSH活動ですが、10月に行われた「さくらサイエンスプログラム」では、プータン、カンボジア、フィリピンから高校生を迎えて、交流会を行いました。翌週に実施された成果報告会には、タイのパヤオ大学附属高校から80名、国内のSSH校の兵庫県立姫路東高等学校、山形県立東桜学館高等学校、福井県立若狭

高等学校、新潟県立新発田高等学校からもたくさんの高校生を受け入れ、英語による口頭発表、ポスター発表を行いました。さらに本校の探究活動は成果を収め、9月に高校3年生が2年生に向けてポスターセッションを実施しました。充実した研究発表が行われ、たくさんの質問に一つ一つ丁寧に解説がされました。探究活動の発表もこれまでの4回の中で、最もレベルの高い研究発表となりました。

秋には、高校3年生の89.4%、464名が東海大学への推薦先が決まり、希望の専門分野に進学します。また、これらの生徒のうち、春に58名、秋に36名が特別奨励となりました。現在高校3年生は、それぞれの進学先に合わせた特別講座を受講しています。

コロナ禍ではありましたが、昨年も中等部・高校の学校説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれました。間もなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しつつ、一步一步前進していきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ダンス部 定期公演

たくさんの笑顔と感動が溢れたステージ

ダンス部元部長 3年7組 小林 奈央

11月14日に、カルッツかわさきにて「ダンス部定期公演2022」を行わせていただきました。中等部16人・高校90人のダンス部史上最も多い人数での公演となりました。

前年度と同様に歓声禁止などの制限がありましたが、1,200人を超えるお客さんの前で演技ができ、とても嬉しく思います。ダンス部での3年間はコロナの影響で、全国大会辞退をはじめとして悔しいことも多々ありました。しかし、先生方、保護者の方々、友達、後輩などたくさんの方々の応援もあり、とても充実したものになりました。応援ありがとうございました。今後もダンス部は高校2年生を中心に、周りに笑顔を与えられるように頑張ります。これからも応援をよろしくお願いいたします。



吹奏楽部 第35回 全日本マーチングコンテスト 金賞受賞!!

全日本マーチングコンテストを終えて

3年1組 大井 杏南

私たち吹奏楽部は、11月20日に大阪城ホールで行われました、全日本マーチングコンテストにおいて金賞を受賞することができました。つらいことや苦しいこともたくさんありましたが、本番では今まで練習してきた成果を出し切り、今までで一番の演奏演技を披露することができました。このような結果が得られたのは、校長先生をはじめ、多くの先生方が支えてくださったからです。さまざまな制限がある中で、今回、無事全員で大会に出場することができたことが何よりも力になりました。これも、コロナ禍の大会ということで先生方がハイブリッド授業を用意してくださったり、不自由なく練習ができるようたくさんサポートしてくださったおかげです。学校外でも保護者の皆様をはじめ、多くの方に応援・サポートしていただきました。支えてくださったすべての方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

結果はもちろんですが、全国大会という夢の舞台に出場するにあたり、仲間と共に1つの目標に向かって努力していく中で、多くのことを学びました。定期演奏会では、今まで学んだことを糧に、支えてくださった方々に感謝の気持ちを届けられるよう、精いっぱい演奏演技いたします。本当にありがとうございました。



2022年度学校運営方針

実践目標

「教科の学習」だけでなく、「教科外活動」を積極的に取り組ませることによって、より豊かな人間性を育てる

本校は、毎年高校の卒業生の約85%が東海大学に進学する付属校で、受験勉強をする必要がない付属高校だからこそ、教科指導を通して、生徒一人ひとりに確かな学力を育成し、大学での専門教育を受けるために必要な学力を養成することを目標として教育を行っています。また、この方針は、同時に生徒たちが授業以外のさまざまな活動を通して、人間として大きく成長する助けにもなっています。

中等部では、1年生で江戸東京博物館、落語鑑賞、2年生で日本科学未来館、科学技術館、3年生で国立科学博物館、歌舞伎鑑賞、「ライオンキング」観劇を実施しています。また、企業の協力を得てキャリア教育を行い、生徒たちの仕事に対する関心や意識を高め、職業観を育てる取り組みも行っています。

高校では、1年生で各クラス2回、茶道の先生をお迎えして、茶道の作法を通して礼儀作法を学んだり、2年生では、港区選挙管理委員会の協力のもと主権者教育を実施して、18歳成人を見据えて社会参画する態度を養っています。

教科外活動の中で大きな役割を果たしているのは部活動で、本校では、多くの生徒が部・同好会活動に参加して積極的に活動しています。活動を通して、生徒たちは技量を高めるだけでなく、目標に向かって努力する姿勢やあきらめない姿勢を学び、同学年の仲間や、先輩・後輩の関係を通して、年齢や考え方の違う人たちと協力して同じ目標に向かって努力する経験をします。そして、目標を達成したときの達成感、充実感は計り知れないものがあります。これまで、多くの部活動が関東大会、全国大会に出場して成果を上げています。

生徒・学生の間に、世の中の多くのものを見たり、経験したりすることを通して、社会で生活していくための基礎を学ぶことはとても大切なことです。

東海大学は「明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、単に知識や技術を教えるだけでなく、人間、社会、歴史、世界、文明などについて、学生一人ひとりが「自らの思想を培う」ことのできる教育を実践しています。

東海大学の付属校である本校では、さまざまな教育活動を通して、将来生きていく上で、指針となるしっかりとした「ものの考え方」を身につけることができるように、生徒たちをサポートしていきたいと思ひます。



校外学習



キャリア教育



芸術鑑賞(落語)



茶道入門



芸術鑑賞(観劇)

SSH活動報告

立命館高等学校 Japan Super Science Fair 2022に参加

3年生2名が、11月1日～5日にかけて立命館高等学校で開催されたJapan Super Science Fair(JSSF)に参加しました。世界18カ国・地域の高校生が集まるイベントで、研究発表やワークショップを通して多くの海外の生徒と交流を深めました。

貴重な経験

3年10組 カマル イマン

JSSFへの参加は今回で2回目でした。前回はZoomでの開催だったのに対し、今回は対面で参加できたので、いろいろな国の生徒のポスター発表やプレゼンテーションの発表を生で聞くことができました。このような活動が、今後のSSH活動へのモチベーションアップにもつながりました。京都の文化を体験できたことも貴重な経験でしたし、立命館高等学校や海外の生徒とも仲良くなれたため、充実した国際交流の機会になりました。

多くの仲間との交流を通して

3年10組 原 希々花

JSSFでは、英語でコミュニケーションをとりながらグループ内で意見を共有し、ポスターや作品を協力して作成する活動が多くありました。私が参加したグループは、初日のポスターでは3位、クイズ大会と最終日のポスターでは1位を獲得することができました。1人だけでは到底出せない結果であり、国内・海外の多くの仲間と協力しながら成果を残せたことに嬉しい気持ちでいっぱいです。今後もこのような交流機会に率先して参加したいと思います。



海外の生徒の前で口頭発表



対面ポスター発表を通して交流



意見を共有してポスター作製



世界の高校生と交流を深めた

サイエンス基礎 相模湖森林実習

1年生サイエンス基礎では、12月3日に相模湖周辺で森林実習を行いました。NPO法人緑のダム北相模の皆さんの協力のもと、間伐や測量を体験し、人と森林とのかかわりについて学びました。

森林実習を終えて

1年10組 三上 史温

今回の実習では、森林の間伐作業を体験しました。竹の伐採はそれほど難しくなく、1人でも作業することができましたが、木の伐採は大変でした。私たちの班ではノコギリを入れた木がなかなか倒れず困っていましたが、そのような状況でも工夫して必ず伐採させる技術を見せてもらい、感動しました。急斜面の森林内では途中転んでしまいましたが、このような機会がないと体験できないことだったので、参加してよかったです。作業を体験して森林に従事する大変さを知りました。これからは、今まで以上に木の製品は大切に扱おうと思いました。



竹林での間伐作業



伐採した木から枝を切り落とす



森林内で測量作業を体験

生徒会 今期役員紹介

生徒会役員選挙で決まった今期の生徒会役員を紹介します。生徒会役員は次の生徒会役員選挙までの一年間、高輪台高校・中等部の学校生活がさらに良くなるように力を注いでくれます。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるよう協力していきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 B組 高木 翔天

副会長 2年 B組 芹澤 優典

副会長 1年 B組 吉永 謙

会計 1年 B組 幸田 時光

書記 2年 A組 春木 来斗

高校生徒会新役員

会長 2年10組 須藤 礼名

副会長 2年 3組 白井 美結

副会長 2年10組 森内 健史

会計 2年 6組 山田 広太

会計 1年 8組 長野 正典

書記 2年 2組 山下 卓文

書記 1年10組 浅生 蓮



後列左から 春木君、幸田君
前列左から 芹澤君、高木君、吉永君



後列左から 浅生君、山下君、長野君、山田君
前列左から 森内君、須藤さん、白井さん

中等部生徒会会長

2年B組 高木 翔天

このたび、中等部新生徒会長になりました、高木翔天です。僕は中1の時から、生徒会の会計として生徒会活動に携わってきました。一年間の活動を終えて思ったことは、生徒会活動は本当にやりがいを感じられるものだということです。一つの行事のために、何日も前から準備を始めて、そして本番を迎え、成功した時の喜びや達成感はなかなか味わえるものではないと思います。

僕が旧生徒会役員の皆さんと生徒会活動をしていた時、僕はとても楽しんで生徒会活動を行うことができていました。それは、旧生徒会役員の皆さんのおかげだと思っています。そして、新生徒会役員になった今、今度は僕がそういう雰囲気を作っていかなければならないと思っています。新型コロナウイルスでさまざまな行事が制限されている中、この生徒会の楽しい雰囲気を、新生徒会役員と一緒に行事などを通して学校全体を盛り上げていけたらと考えています。学校をより明るく楽しい場所にしていけるよう努力していきますので、これから一年間よろしくをお願いします。

高校生徒会会長

2年10組 須藤 礼名

私は本校の中等部から生徒会役員として活動して、中等部3年生では中等部生徒会会長をさせていただき、高校生徒会では書記として活動しました。これまでのすべての経験を通して自分が「こうしていきたい」と思ったこと、生徒の皆さんのためになるようなことを精いっぱいしていきたいと思っています。

私が進めていきたいことの1つに、「生徒会活動の活性化」があります。これまでは、生徒の皆さんに生徒会の活動をあまり知らせていなかったと思います。そこで、これからは生徒会の活動をもっと活発にしていくことで、「変化」を感じていただきたいと思っています。私は、最終的にこの高輪台を今まで以上に活気溢れる学校にしていきたいと思っていますが、それは簡単なことではありません。そのため、まずは私たち生徒会から率先して変化していくことで、生徒の皆さんにとって活気溢れる学校にしていくために、動きやすくなる環境づくりをしていきたいと思っています。

今期の生徒会にも、ご協力をお願いします。

中等部合唱祭

11月14日(月)、アリーナにて合唱祭が行われました。各学年、放課後や朝練習をしながら本番に向けて頑張ってきました。当日は練習の成果を発揮し、美しいハーモニーと元気いっぱいな歌声を届けてくれました。生徒たちの真剣なまなざしも素晴らしかったです。

指揮者賞

3年B組 鈴木 励

指揮者賞という名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。これもひとえに応援して下さった先生方やクラスメイトの協力のおかげだと感じています。私が指揮者を目指したのは中等部2年の頃からでした。ですが、その時は指揮者に選ばれず悔しい思いをしました。最後の合唱祭こそはと思い、動画を見て研究したり、練習に励みました。指揮者に選ばれた時は嬉しかったです。また、クラスのみならず積極的に練習に参加してくれたり、周りの人も合唱の雰囲気作りに協力してくれました。その結果、最高の賞を得ることができました。

伴奏者賞

3年A組 加藤 和奏

クラスの曲で「響けこの歌声 響け遠くまでも」という歌詞があります。A組はまとめる人がいなくて、いつもバラバラでした。その上、合唱祭前に学級閉鎖になってしまい、あきらめたような雰囲気が漂っていました。しかし、この歌詞の部分だけは全員がいつもそろっていて、鳥肌が立つほどきれいでした。本番でも全員の歌声が歌詞通りに全体に響き渡りました。結果は銀賞でしたが、この合唱祭を通して明らかにA組は成長し、そしてアリーナに私たちの歌声を響かせることができたと思っています。伴奏者として賞を取れてとても嬉しかったです。

金賞

3年B組

『あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ』

僕たち3年B組は、合唱祭で金賞を取ることができました。先生方から同じことを注意され、何度も悔しい思いをしたり、A組と合同練習をした際には、A組の歌唱力や団結力に圧倒されました。しかし、本番が近くなるにつれて僕たちも団結力が出てきました。そして迎えた本番、金賞という結果で幕を下ろすことができました。いつもはまとめられる側の僕ですが、練習の時は視野を広げ、指揮の鈴木君と一緒にみんなにアドバイスしながらクラスをまとめることができました。最後に、応援して下さった保護者の方々、支えてくれた先生方、本当にありがとうございます。このような結果を残せて嬉しく思います。(深見 玲)

銀賞

3年A組

『群青』

銅賞

2年B組

『永遠のキャンパス』

学年だより 中1

初めての合唱祭

中等部1年生にとって初めての合唱祭が行われました。緊張の中、それぞれのクラスでこの日を迎えるまでにいろいろありました。そんな過程を、指揮者・伴奏者として頑張ってくれた4人からご紹介します。

A組『マイ パラード』



初めての合唱祭

指揮 真弓 叶子

私は、11月に行われた合唱祭で指揮を担当しました。最初は、テンポをキープできるように意識し、それからリタルダンドをかける場所など、みんなが入りづらいところを先生に相談してわかりやすくできるようにしました。本番では、他の指揮者の指揮のレベルの高さに驚きました。私はほとんど片手だったのですが、両手を使って必死に表現しようとしているところを見て、すごいと思いました。来年度の合唱祭もクラス一丸となり、頑張りたいと思います。

指揮者の指揮のレベルの高さに驚きました。私はほとんど片手だったのですが、両手を使って必死に表現しようとしているところを見て、すごいと思いました。来年度の合唱祭もクラス一丸となり、頑張りたいと思います。

ピアノと向き合った合唱祭

伴奏 野口 青央



初めての合唱祭で、私は伴奏者になりました。部活動が忙しく、練習する時間が限られていたため、かなり焦っていましたが、放課後練習で、いつもクラスメイトが「ピアノ上手だね!」と励ましてくれていました。本番の日は、朝から練習したので、みんな気合十分でした。結果は、金賞は取れなかったけれど、曲の最後まで集中して取り組むことができました。来年度も一致団結して頑張りたいです。



B組『大切なもの』



指揮者台から

指揮 井上 一希

今回の合唱祭で歌う『大切なもの』、指揮者は僕が担当することになりました。初めて指揮者になってみて、最初のころは緊張して、ピアノの伴奏やみんなの歌声をなかなか合わせるできませんでした。また僕自身の緊張からなかなかみんなをうまくまとめられず、息が合わなかったり、途中で部活動や用事があるため帰る人がいたりしました。しかし、練習するにつれて、伴奏者・指揮者・歌う人、みんなの息が合うようになってきました。また「話を聞いてー」と言った時に、すぐに静になるなどメリハリが利くようになり、みんなの行動が早くなりました。残念ながら入賞には届きませんでしたが、みんなでベストを尽くせてよかったです。この経験を経て、僕は来年度も指揮者をやりたいと思っているので、来年度の合唱祭まで練習したいです。

の緊張からなかなかみんなをうまくまとめられず、息が合わなかったり、途中で部活動や用事があるため帰る人がいたりしました。しかし、練習するにつれて、伴奏者・指揮者・歌う人、みんなの息が合うようになってきました。また「話を聞いてー」と言った時に、すぐに静になるなどメリハリが利くようになり、みんなの行動が早くなりました。残念ながら入賞には届きませんでしたが、みんなでベストを尽くせてよかったです。この経験を経て、僕は来年度も指揮者をやりたいと思っているので、来年度の合唱祭まで練習したいです。

みんなで協力した合唱祭

伴奏 清水 美咲



私は今回の合唱祭を通して、みんなで協力しながら何かを作り上げていく難しさを知ることができました。最初はやる気が出ず、一致団結ができていない状況でしたが、先輩方のきれいな歌声が聞こえてきて、自分たちの合唱との大きな差に気づき、みんなの気持ちがいい方向に向いていくのを肌で感じました。今回の合唱祭では、先輩方に影響されて得るものがとても多かったです。来年度は先輩たちと肩を並べられるような、もっと美しい歌声を披露できる合唱祭にしたいです。



学年だより 中2

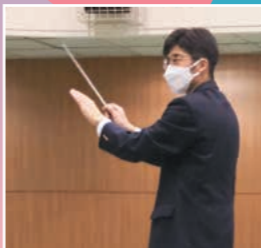
合唱祭と2023年の抱負

中等部では11月14日に合唱祭が行われました。A組が『地球星歌』、B組が『永遠のキャンパス』を歌い、B組が見事銅賞に輝きました。2学年になり、より一層団結力が増した行事となりましたのでご覧ください。

「指揮者」

B組 國友 旺汰

今回は、初めて指揮者という役をやりました。練習では、みんなをまとめるのがとても難しかったです。練習を重ねるとみんながまとまっていき、きれいな音が出るようになっていきました。本番では、緊張して手の汗が止まらなかったです。前に立つとみんなの声が良く聞こえ、とてもきれいでした。指揮者賞を取ることはできませんでしたが、やりがいを感じました。来年度こそは指揮者賞を取りたいです。



緊張したけどやってよかった指揮



休みが出た分、みんなでカバー

「つかみ取った輝く賞状」

B組 望月 奏慈

僕は、合唱祭で曲のPRを担当しました。思っていた何倍も読む時に緊張してしまい、大きくはっきりと読むことはできませんでしたが、良い経験になったと思います。また、合唱時は、とにかく声を出そうとするあまり、歌う時のポイントなどを忘れてしまう部分がありましたが、とにかく中等部生活初の銅賞を取れたのでよかったです。来年度はクラスが変わりますが、金賞を取れるよう頑張りたいです。



素敵な伴奏です



いっぱい練習しました

「みんなの努力」

A組 竹田 琥

今回の合唱祭は、惜しくも金賞や銀賞は取れなかったけど、みんなで練習した中で一番良い出来だったと思います。みんな「練習がだるい」「やりたくない」と言っていたけど、やる時はしっかりと練習し、徐々に歌がうまくなっていき、とても楽しかったです。来年度はもちろん金賞を取ります。そのために朝練や放課後練をやり、来年度の1・2年生にすごいと思われるような合唱をしたいです。



1カ月の猛特訓で弾けるようになりました



2Aの練習の成果を見せます

「地球星歌」

A組 佐藤 太智

僕たちのクラスは『地球星歌』を歌いました。最初は音楽の先生がとても難しい曲と言っていたので不安でした。練習ではそれぞれのパートがかみ合わず、本番までかなり苦戦していました。しかし、クラスみんなで意見を言い合い、なんとか形になりました。今回の合唱祭では残念ながら賞は取れませんでした。来年度こそは賞を狙い、金賞を取りたいです。今回の合唱祭で行った意見交換を大切にしたいです。



2学年 指揮者・伴奏者



2学年 曲紹介者

学年だより 中3

～最後の合唱祭～

中等部にとって大きな行事の一つである合唱祭が行われました。最高学年としてのプレッシャーを感じながら練習に臨みました。本番を迎えるまでにさまざまな困難や葛藤もあったと思います。それを乗り越えて、当日はA組、B組、最高の合唱ができたのではないのでしょうか。この行事から得た経験を活かし、さらなる成長に期待します。

A組

『群青』

指揮：藤崎 司/伴奏：加藤 和奏

当たり前の幸せ A組 中村 奏人

3年A組が歌った『群青』の中で、僕は「当たり前が幸せと知った」という歌詞が印象に残っています。なぜなら僕にも当たり前が幸せと感じた瞬間があったからです。

小学6年生の頃、もう少しで卒業という時に、コロナが流行し、残っていた行事がすべて消えてしまいました。本来ならば6年生を送る会で歌う予定だった『群青』を、その場で歌うことができなくなってしまいました。この時こそが「当たり前が幸せと知った」という歌詞が身に染みる瞬間でした。当たり前だったことがすべて消えてしまい、その悔しさは今になっても残っています。この体験があったからこそ、この歌詞により共感するのだと思います。

この気持ちや体験を心に刻みながら歌った合唱祭は、銀賞だったとはいえ、とても貴重なものになりました。そして合唱祭を通じて行事ができることにも感謝したいです。



B組

『あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ』

指揮：鈴木 励/伴奏：深見 玲

最後にふさわしい歌 B組 名取 輝

今回の合唱祭で歌った『あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ』の歌詞には、とても心に響く歌詞が多くあります。中でも「悲しみを知った分、優しくなれる」という歌詞は特に心に残りました。なぜなら僕にもそのような経験があるからです。

僕が中等部1年の頃、部活動で仲間の一人が多くのミスをしてしまい、練習がはかどらないことがありました。しかし僕は、ミスをする子に対して文句を言わないと決めていました。さかのぼれば小学6年生の時に、僕もたくさんミスをしてしまうことがあったからです。その際、仲間の一人から「下手くそ」などの文句を言われ、とても傷つき、その日は全くとまきませんでした。それ以降、自分が言われて嫌だったことは絶対に言わない、そして人に対して優しくしようと心がけています。

また、『あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ』は難しい曲で練習は大変でしたが、心に残る美しい曲でもあり、最後の合唱祭で歌えることができて光栄でした。



学年だより 高1

英語スピーチコンテスト ～Inspire each other～

高校1年生では、11月7日に本校アリーナにて英語スピーチコンテストを行いました。各クラスの代表者2名が堂々としたスピーチを披露してくれました。入賞した3名の感想とともにその様子をご覧ください。



スピーチコンテストをやり切りました!



優勝しました!

1組 那知上 真之介

今回のスピーチでは、「人生を後悔しないために」を主題に、周り(社会)から強制させられる生き方より、自分の夢を本気で追い求める人生の方が後悔しない人生といえるのではないかと、という内容を話しました。

私の将来の夢は、自分の英語力と行動力を生かし、映像、ビジネスという軸で世界を変えられる人物になることです。そのために、大学では海外へ留学し、小学生の頃に始めた映像制作について深く学びたいと思っています。

4組 齊藤 萌紅美

私は好きな場所について英語でスピーチを行いました。初めて大勢の前でスピーチをする機会を英語で行うことはとても緊張しました。事前に家で練習はしたのですが、大勢の人を目の前にするとは思ってはいませんでした。それでも自分なりに頑張ることができました。このような貴重な機会を与えてくれた先生方に感謝を申し上げます。

この経験を生かして、これからさらなる英語学習に励み、英語に関するさまざまなことにチャレンジしていきたいと思っています。

5組 坂上 希々椀

スピーチでは、私の第二の故郷であるフィリピンの食べ物や人柄、現地語など自分が過ごしてきた中で魅力を感じたものについて話しました。当時の私は文化の違いを感じながら生活をするのがすごく楽しく、毎日が輝いていたような気がします。そのような日々を高校生活でも送りたいです。

今後は語彙力の向上のために英文法を一から見直し、良きライバルと出会うこともできたので、モチベーションにつなげ、TOEFL®などの挑戦もしていきます。



とても緊張しました



堂々と話すことができました



表彰してもらいました!

学年だより 高2

新部長からのメッセージ ①

今月号、来月号の学年だよりでは、新部長からの意気込み、目標などを紹介します。

女子バレーボール部

6組 佐藤 帆香

私たち女子バレーボール部は、一人ひとりができることを考え、部員全員で協力し合い、日々練習をしています。バレーができることの感謝を忘れず頑張っていくので、応援をよろしくお願ひします。

剣道部

5組 久保田 青海

剣道部は、部員全員が仲間として互いに切磋琢磨し合えるような部活動です。一人ひとりが剣道部として自覚を持ち、関東大会、インターハイ出場を目標に日々練習しています。応援をよろしくお願ひします。

ゴルフ部

3組 羽賀 亜衣未

新しい代になり、練習内容を少しずつ改善しながら頑張っています。部内は仲良く、一人ひとりが自分の目標を持ち、取り組んでいます。技術だけでなくルールを覚え、恥のないゴルフ部にしていきます。

ラグビー部

10組 森内 健史

今、高輪台のラグビー部は順調に強くなっていると思います。昨年は都ベスト32だったので、今年はベスト8を目指し、頑張ります。きつい練習もありますが、それ以上に仲間と良い経験ができるので、ぜひ応援してください。

弓道部

4組 益子 新菜

弓道部は関東大会出場を目標に、日々稽古に励んでいます。技術力向上はもちろんですが、礼儀を忘れずに取り組むことを意識しています。今年は今まで以上に結果を残せるよう、部員全員で頑張ります。

バドミントン部

5組 小林 拓心

チームワークがあり、雰囲気の良いのが一番の「高輪らしさ」なので、そこを引き継ぎながら、今の代の良さも取り入れて、今年は必ず関東大会に出場して、過去イチで強く楽しい部活動を作りたいです。

男子バレーボール部

7組 蒲谷 一真

男子バレーボール部は関東大会出場を目指し、部員19人で日々練習しています。この目標を達成するためにお互い励まし合いながら、ボールを使わない練習も一生懸命取り組んでいます。

柔道部

9組 齋藤 誠史郎

柔道部はチームの仲が良く、活気溢れるチームです。その中で私は、部長として周りに気を配り、積極的に声掛けをしていきます。全国大会に向けてチーム一丸となって頑張っていきます。

陸上競技部

3組 谷川 遥人

私たち陸上競技部では、都大会、関東大会、全国大会の出場を目指して日々練習に取り組んでいます。きつい練習もありますが、仲間と助け合って乗り越えています。応援をよろしくお願ひします。

スキー部

8組 望月 勇弥

新スキー部になり、部員も多く増えたので、去年まで行っていたメニューにさらに新しいメニューを追加して、実践で役に立つ練習をしていきたいです。また、部員同士が仲良く支え合っていきたいです。

茶道部

10組 須藤 礼名

茶道部では、お点前の練習をしたり、お茶に関する知識をつけたりと、少人数ながら楽しく活動しています。今までの楽しい雰囲気を大切にしつつ、これまで以上に部員同士協力しながら頑張っていきます。

吹奏楽部

7組 相馬 理吏亜

吹奏楽部、新部長を務めます、相馬理吏亜です。大会で、金賞をいただけるような演奏、そしてお客さんを感動させられるような演奏ができるように、精いっぱい頑張っていきたいと思いますので、応援をよろしくお願ひします。

ESS同好会

7組 三上 晏黎

新ESS会長になりました、三上晏黎です。私はESSで活動をして英語の楽しさを感じ、積極的に取り組めるようになったので、これからもESSを盛り上げ、楽しく活動をしていきたいです。

美術部

9組 宇都宮 広平

私たち美術部は、個人で取り組むことが多く、それぞれが独自の世界を表現しています。部内の雰囲気を良くして作品作りに没頭できるように一生懸命頑張ります。

写真部

3組 佐藤 沙

写真部は週に2日活動しています。他の部活動に比べると少ないですが、皆熱量を持って活動しています。11月に開催されたサッカー部の大会でも多くの写真を撮りました。新部長として盛り上げていきたいです。

学年だより 高3

建学祭 その②

今月号は各クラスの生徒たちの感想をご覧ください。

1組 八巻おじさんのプラバン工房
佐脇 彩香

1組「八巻おじさんのプラバン工房」では、プラバン作りを行いました。たくさんのお客様に楽しんでいただいて、クラスみんなの努力が実ってよかったなと思いました。私もきちんと自分の役割を果たすことができよかったなと思いました。心に残る、とても楽しい建学祭でした。

2組 中山工務店
市川 南々海

2組「中山工務店」では、着なくなった服を回収しエコバックにするとことを行いました。昨年度は、事前の作業が進まなかったのですが、今回はクラスの皆が積極性を持って準備をすることができました。2日間、たくさんの方が訪れてくれて、楽しく建学祭を終えることができ、とてもよかったです。

3組 君の名は。
葛西 雷火

3組「君の名は。」では、ネームプレート作りを行いました。建学祭両日とも、老若男女がネームプレート作りを訪れてくれて、人気がありました。その結果を見ると、今回の建学祭はうまくいったと思いました。残り少ない行事も全部楽しんでいきたいと思っています。

4組 フランス展
加藤 まわた

4組は、フランス・世界遺産を学べる美術館を行いました。今回、企業連携という初めての試みでしたが、多くの人に楽しんでいただけたと思っています。準備期間が2日間という限られた時間の中で、クラス全員が協力し合えたので、とても楽しかったです。

5組 せっけん作り
佐藤 寛之

5組では、せっけん作りを行いました。建学祭中は、普段触れ合うことのできない学校の生徒や保護者、外部の方々とおもてなしを通してコミュニケーションができたことが楽しかったです。コロナ禍で需要のあるせっけん作りは好評で、とてもやりがいのある建学祭になりました。

6組 スノードーム
松田 泰希

6組「スノードーム」では、訪れた人たちに、スノードーム作りの体験をしてもらいました。準備期間からクラスは団結していて、とても雰囲気が良かったです。建学祭実施日の2日間は人が途切れることなく、大盛況でした。充実した最後の建学祭にすることができました。

7組 ミサンガキーホルダー作り
澤田 優

7組「ミサンガキーホルダー作り」では、ミサンガをキーホルダーとして作ってもらいました。高校生活最後の建学祭、私にとっては初めて学校関係者以外のお客様に来ていただいた建学祭になりました。過去2年間に比べ格段に参加者が増えたため、クラスの催しでは在庫不足になってしまうほど、予想をはるかに上回るお客様に来ていただき、嬉しい悲鳴でいっぱいでした。今まで一番活気があり、3年間で一番良い建学祭になりました。

8組 神輿～日本の伝統と世界の遺産を繋ぐ～
小島 優花

8組「神輿～日本の伝統と世界の遺産を繋ぐ～」では、神輿作りをしました。準備期間では、クラス全員で協力し、細かいところまでしっかり作ることができてよかったです。やはり、みんなで何か一つの物を作り上げるというのは楽しかったです。また、神輿の中に世界遺産が入っているということも学ぶことができました。

9組 ジェルキャンドル
柴田 優依

9組「ジェルキャンドル」では、ジェルキャンドルの製作体験を行いました。年度初めは例年のように3年生は、飲食店ができるかもしれないという期待があり、着々と建学祭準備が始まりました。やはりコロナ禍という中、いろいろな制限がありましたが、それでも高校生活最後の建学祭を楽しむことができよかったです。

10組 未来食堂塾
金子 鈴佳

10組「未来食堂塾」では、食糧問題を題材として生徒が模擬授業を行いました。建学祭期間は、さまざまな活動も忙しかつたのですが、その中で授業を作り、うまく発表ができました。部活動での仕事もあったので、あまりクラスには携われなかったものの、今回は至る所で自分の爪痕を残せたのでよかったです。

お知らせ

チャレンジ検定!

漢検(日本漢字能力検定) 1月20日(金) 希望者

数検(実用数学技能検定) 1月28日(土) 希望者

行事予定

※予定が変更になる場合があります。1月は中等部入試、高校入試の出願受付が始まります。詳しくは本校HPをご覧ください。

January 1月

February 2月

- 1日(日) 元日
- 6日(金) 新春懇親会(新高輪プリンスホテル)
吹奏楽部定期演奏会(高校)
- 7日(土) 朝礼 短縮授業
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑥(中等部)
(プレテスト実施)
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 校医相談日⑩
- 17日(火) 木曜日の授業日
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング⑤
- 19日(木) 生徒自宅学習日(1/22分)
- 20日(金) 日本漢字能力検定(希望者)
- 21日(土) 高校推薦入試準備(4限カット)
- 22日(日) 高校推薦入学試験
- 23日(月) 高校推薦入学試験合否発表
生徒による授業評価アンケート④
- 25日(水) 特別時程(高校、中1・2:~27日)
卒業試験(中3:~27日)
- 28日(土) 実用数学技能検定(希望者)
- 30日(月) 生徒自宅学習日(2/5分)
- 31日(火) 特別講座終了(高3)

- 1日(水) 中等部第1回入学試験(生徒自宅学習日)
マナー講座(中3)
- 2日(木) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(金) 中等部第2回入学試験(中2・3、高校生徒自宅学習日)
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 4日(土) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(日) 中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)
- 6日(月) 中等部第3回入学試験合否発表
- 7日(火) 朝礼 短縮 卒業試験答案返却(中3)
- 8日(水) 金曜日の授業
- 10日(金) 高校一般入学試験(生徒自宅学習日)
- 11日(土) 建国記念の日 高校一般入学試験合否発表
- 14日(火) 校医相談日⑩
- 15日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 16日(木) 基礎力判定試験(高2) スポーツ大会(アリーナ:高1)
特別時程(中1・2)
- 17日(金) 研修旅行[~21日](奄美大島:中3) 基礎力判定試験(高1)
スポーツ大会(アリーナ:高2) 特別時程(中1・2)
- 19日(日) 新入生制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦)
- 21日(火) 木曜日の授業
- 22日(水) 生徒休業日(中3)
- 23日(木) 天皇誕生日
- 25日(土) 登校日(高3)
- 26日(日) 新入生・保護者登校日(中等部)
新入生制服採寸・教材販売(付属・高校一般)
- 27日(月) 自宅学習日
- 28日(火) 後期期末試験(中1・2:~3月2日)(高1・2:~3月3日)

編集後記

時代を超えて愛される名曲、というと童謡や唱歌を想起します。中には隔世の感がある歌詞も少なくありませんが(「十五でねえやは嫁に行き」なんて今では考えられません)、結果的に当時の文化や習俗を知る手掛かりとなっています。ハガキの年賀状を書く、という若者もすでに絶滅してしまっているかもしれませんが、「やぎさんゆうびん」が歌い継がれるかぎりは親しい相手と手紙を交わすときのあの高揚感が私たちの心から失われることはないでしょう。ということで、時代を超えて愛される学校報『飛躍』を、本年もよろしくお願いたします。(の)

クリスマスツリー点灯式



今年度もクリスマスツリーの点灯式が行われました。このクリスマスツリーは2014年度に、大学の高輪キャンパスが行っている「Takanawa共有プロジェクト」に本校生徒会も参加させていただいたことがきっかけとなり、今年度で9年目となります。高校生徒会と中等部生徒会が飾りつけに携わり、華やかにライトアップされたツリーが私たちを楽しませてくれました。来年度もぜひ楽しみにしていただければと思います。

撮影：山元佳奈さん(写真部2年)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>